



法の光 (法光山 妙勝寺 通信)

No.259

2021年(令和3年) 7月 1日発行

文責 大岩 清人

—朝日の本堂半鐘—

お盆

東京の7月盆・関西の月遅れの8月盆を迎えます。初盆を迎えられる故人の生前の姿を思い出します。もう一度話がしたいな～。あのことを聞いておきたかったな～。突然の旅立ちにみんな驚いたな～。棚経の時に亡くなられたな～。と色々思うのです。

お盆の風習を記しておきます。

①**迎え火**(墓前や玄関先でオガラを燃やし、その火をお佛壇のろうそくへ) 13日の夕方に行います。

②**お供え物**(季節野菜や故人の好きだった物をお供えして下さい。)

③**お飾り**(花・キュウリの馬・なすびの牛。盆提灯があれば灯します。)

各地方でその土地特有の初盆飾りがあります。



精霊棚は全国で行われてきました。山崎でも造られるお家は少なくなりました。お佛壇から位牌を取り出し、白布を敷いたテーブルに並べその前にお供え物を並べるのです。

④**食事**(お盆の間お帰りになるご祖先と共に食事をとるのが良いでしょう。お佛壇の前や近くで家族賑やかに食事をするをおすすめします。)

⑤**盆踊り**(ご先祖を楽しませる古くからの行事です。コロナ禍開催がどうなるのでしょうか？山崎では13日の夜、花火を打ち上げますが、ご先祖様こちらですよという合図でもあります。家族で夏の夜の花火を門先や庭でするのも良いものです。)

⑥**送り火**(15日の夕方、所によっては16日にオガラを燃やして送り火とします。来年も帰ってきて下さいと願いを込めます。京都五山の送り火は有名です。また各地で精霊流しの風習があります。)

今我々が存在しているのもご先祖のお陰です。感謝の気持ちを込め、家族が集まれる事を喜びお祀りをすれば良いのです。

人の心は難しい

プロテニスプレイヤー大坂なおみさんが心の内を明かしました。以前から鬱^{うつ}状態に苦しんでいると…。彼女が女子テニス界の頂点に立ち、多くの課題を背負って頑張っておられます。黒人差別については、理不尽に亡くなった黒人の名前をマスクにプリントして矢^や面^{おもて}に立ちました。これだけの選手だ。心身共に強いに違いない…。と我々は考えてしまいます。トップ選手だけに風当たりやプレッシャーは計り知れないのでしょう。

水泳・陸上・サッカーなどのスポーツ選手に鬱病で苦しんでいる人が多いことも明かされました。トップに立つが故に心の内を明かせない苦しみから鬱状態になるのだそうです。近年、メンタルトレーナーを付ける選手が増えています。体力を鍛える以上に心を鍛えることは難しいのです。

我々も同じです。くよくよ考えてしまう…のです。その人の生き立ちや経験はそれぞれ異なります。兄弟でも兄の育つ環境と弟が育つ環境は違います。兄は未知の世界を手探りで生きてきたでしょうし、弟は兄の姿を見て育ちますが、良きにつけ悪きにつけ兄の存在^ひを常に意識して育ちます。

その人の経験は皆違うのです。他人からはわかりません。

もし小さい頃のトラウマを背負って生きているとしたら…それは家族でもわからないことなのです。穏やかに生活している時には深層に沈んでいても、不安定な時にその思いはムクムクと這い出てくるのです。死ぬまで持ち続けます。それだけに穏やかに生活することがなによりです。生きる事は難しいな～と年と共にわかってきました。自分の心模様を客観的に見るにも経験が必要です。

スマホは便利だが怖いな～



スマホはドラえもののどこでもドアの感がある。どこでもすぐに何でも調べられるし、山間でも直で電話が通じる。山で遭難した人がスマホで救援を頼む。

左の草花の名前をご存じだろうか？

これもスマホを使えばいとも簡単に判明する。サルビア・ホットリップスだそう。この機能を使えば山歩きは楽しくなるだろう。でも植物図鑑はいらなくなるし、植物ガイドをしてもらわなくても良くなる。ますます本や人を頼らなくなるだろうな～。スマホがあれば1人で解決できるのは良いことだけど、あくまで道具という認識を大切にしたいものだ。

「共産主義時代はどうでしたか？」

TVでチェコを旅する若き日本人の女性がチェコ人女性への質問です。

「共産主義時代は二重生活でした。外での振る舞いと家の中で家族との過ごす振る舞いです。外では国の体制や政治について批判は一切出来ない。本当の心は家族にしか話すことが出来なかった・・・。」

「心の中に亡命するしかなかった・・・。」と語った老人がいた。

我々にも外の顔と内の顔がある。それは言うては失礼だとか言うべきではないと自制してのことです。一方で国のコロナ対策に批判的なことを平気で発言しています。共産主義社会ではそのようなことは許されないのです。外で「国の政策はなっとらん。」等と発言すれば、その言動は共産党の耳に伝わり、反動分子として収容矯正が行われるのです。(日本もスマホで管理される社会となっている。)

NHKのBSで街頭インタビューという番組があります。銀座で初老の紳士に話を聞いていました。「医者です。WHOに勤めHIVの担当としてアフリカ・タイなどで働きました。」大変な経験をされたようでした。「人間は根本同じです。人種や宗教や社会体制が違っても人間は変わりません。同じですよ。」と心根についてインタビューに答えられた。

中国でウイグル民族が強制収容されている。チベットでも同じ事が繰り返されたし、少数民族も漢民族化の教育が行われている。

2002年胡錦濤は「科学発展に基づく社会主義和諧社会の建設」を唱えて、民生向上へと舵を切った。改革開放政策で多くの外国企業を誘致し、市場を拡大し、経済発展による豊かさが人民に還元され小康社会(いくらかゆとりのある社会)となった。

海外旅行で爆買いが出来



るようになったり、綺麗な住宅に住めるようになったのも共産党のお陰である。外で自由な発言を慎めばいいことは身につけているのである。

しかし、香港やチベットや新疆ウイグルではそうではない。統制が行われ、大切にしてきた文化・宗教・自治そして自由が剥奪された。1966年に始まる文化大革命時代(古き価値ある文化が破壊された)に回帰する動きである。漢民族が明朝以来の繁栄を強権的な専制主義で主張している。

世界で専制主義国家が復活してる。「人間は根本同じです。」を信じたい。

お盆の棚経について

東京は7月9・10・11日にお参り致します。

関西は次の日程でお参り致します。

- 7月 25日(日) 大阪(一部の檀家さん)
- 8月 1日(日) 伊丹・尼崎・大阪中心部・大阪東部
2日(月) 大阪南部・西宮・芦屋・神戸東部
3日(火) 神戸中心部・神戸西部・明石
4日(水) 予備日 ※急な法務(葬儀等)の為に開けています。
5日(木) たつの・姫路西部・姫路中心部・安富町
6日(金) 姫路東部・姫路北部・夢前町
7日(土) 宍粟一宮町・波賀町
8日(日) 山崎町蔦沢
9日(月) たつの(一部の檀家さん)
10日(火) 山崎町三津・田井・岸田・川戸
11日(水) 予備日 ※
12日(木) 山崎町春安・段
13日(金) [午前]山崎町 今宿・中広瀬・河東・城下
[夕方]山崎町 横須・上寺・庄能・中心部
14日(土) 山崎町中心部
15日(日) 山崎町中心部
16日(月) 法要準備
17日(火) 当山 お盆施餓鬼法要

※ 急な法務(葬儀など)により、変更をお願いする時があります。

※ 近年の猛暑は棚経でお参りするのにも過酷な気温です。できる限り昼間の暑い時間を回避したいと思います。一部地域ではお参りの時間を早めさせて頂くことにご理解・ご協力をお願いします。時間の変更につきましては、変更する地域の皆さんに、変更予定の用紙を同封しております。

誠に恐れ入りますが、用紙の保管かスケジュールにご記入下さい。

お盆・施餓鬼法要のご案内・塔婆申し込み

塔婆は同封のハガキにてお申し込み下さい。棚経との関係で早めにお申し込みいただければ余裕を持って塔婆墨書きが出来ますので宜しくお願いします。